

# 主\*な\*施\*策\*目\*標

目標

目 標	指 標	20年度	26年度
授業がわかり、学ぶことの楽しさを実感する子どもの割合を増やします。	「基礎・基本」定着状況調査における正答率60%以上の子どもの割合	72.1%	80.0%
平和学習を基に、自主的、実習的な取組を行う子どもの割合を増やします。	こどもピースサミットへ作品を応募した小学校の割合	86%	100%
不登校児童生徒の割合を減らします。	児童生徒100人当たりの不登校児童生徒の人数	1.20人	1.16人
青少年と電子メディアに関する問題に関心を持つ人の数を増やします。	電子メディアに関する啓発事業に参加した人数	10,600人	17,100人
地域で見守り活動をする人を増やします。	組織的な見守り活動者数	37,600人	38,500人

4

## 基本目標

子どもが  
社会に参加する  
ための環境を  
つくりまします

重点  
施策

## と主な施策展開

### 子どもの権利を保障するための環境整備

- ①子どもの権利の啓発(子どもの権利普及啓発事業など)
- ②子どもに関する相談体制の整備(総合相談支援拠点機能の整備の検討など)

### 子どもの社会参画の促進

- ①子どもの意見反映に向けた取組の推進(子どもの意見表明の機会の確保など)
- ②子どもの自主的な活動への支援(ボランティア活動の推進など)

